

単施設研究用

研究課題名：

ウルトラファインバブル酸素含有血液ろ過用補充液を用いた血液酸素化の研究

1. 研究の対象

2022年1月1日～2025年3月31日までに佐賀県内で献血を受けられた方

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

新型コロナウイルス感染後にあるいはその他呼吸器疾患において重症呼吸器不全を起こされた患者さんは体外式膜型人工肺（ECMO）により血液の酸素化が行われる治療が選択されることがあります。この従来の方法は患者さんへの多大な負担と高度な機器専門性ならびに多くの医療スタッフの関わりが必要になります。今回ウルトラファインバブルという微細な気体粒子となった酸素を血液とブレンドする方法を開発し、従来より簡易的な方法での血液の酸素化を行う研究を目的としています。

血液浄化装置である持続血液ろ過透析（CHDF：Continuous hemodiafiltration）の装置を用い、血液ろ過透析と同様に体外へ取り出した静脈血を透析回路内で酸素化された血液ろ過用補充液とブレンドすることで血液を酸素化できるか検討します。

・研究期間 臨床研究倫理審査委員会承認日 ～ 2025年3月31日

3. 研究に用いる試料の種類

試料：日本赤十字社から研究用として提供された献血血液製剤

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住所：〒849-8501

佐賀市鍋島5丁目1番1号

佐賀大学医学部附属病院

担当者（研究責任者）： 腎臓内科 准教授 宮園素明

電話番号：0952-34-2370

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

日本赤十字社から提供いただく献血血液製剤はすでに匿名化された状態で提供されるため、当該研究実施機関で新たに匿名化の作業を行うことはありませんが、お預かりした献血血液製剤につきましては倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

このお知らせは当院臨床研究倫理審査委員会承認日より2025年3月31日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページに掲載しているものです。

臨床研究センターHP <http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/chiken/>

なお、この研究内容は、佐賀大学における所定の委員会で審査を受け、承認されたものです。臨床研究センターHPでは、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。